

農業経営改善研修会 & 情報交換会 in 佐久を開催しました！

これからの農業を担う青年農業者がこれからの農業経営を考えるきっかけとして、令和2年1月8日に農業経営改善研修会&情報交換会 in 佐久を開催しました。

PALネットながのと佐久農業改良普及センターの共催で、70名の参加者が、農業経営の基本となる作業日誌等のデータをスマートフォンのアプリを活用して省力的に管理していく方法やデータ等を活用した実際の経営改善の事例を学びました。



研修会の様子

最初に「阿部梨園の経営改善～農業経営を大きく変える小さな改善～」と題して阿部梨園マネージャー／FWARMSHIDE works代表の佐川友彦氏に講演をいただきました。経営改善を考えるときは、大きなことに目が向いてしまいがちですが、佐川氏は、身近なすぐに取り組めることから改善を進め成果を上げているとのことでした。また、従業員自身の提案型改善により、前向きな職場環境が出来ていると紹介があり、とても参考になりました。

佐川氏は、これまで行ってきた改善内容をインターネット上に公開していて、それを事前に知っていた参加者からは、直接お話を聞くことが出来て、更に理解が深まったとの声もありました。



佐川氏

続いて、「Agrionスマートフォンを活用した農作業管理の見える化・効率化」と題してライブリッツ株式会社の斎藤脩平氏に実際のアプリ操作方法を説明していただきました。既に導入している参加者も何人かいて、その実践者の一人として株式会社ベジーツの山本社長さんからは、操作性の利点や作業労働時間データから改善できたことなど具体的な活用方法を聞くことが出来ました。今回の研修会をきっかけに導入を検討したい方と何人かから声が聞かれました。



斎藤氏

研修会終了後には、講師との個別相談や参加者同士の交流を深めようと情報交換会も行いました。

当日行ったアンケートは、身近なところからの改善できる事が伝わり、「明日から実践します。」との声が寄せられ、参加者の皆さんの今後に期待したいと思います。



熱心に質問する参加者